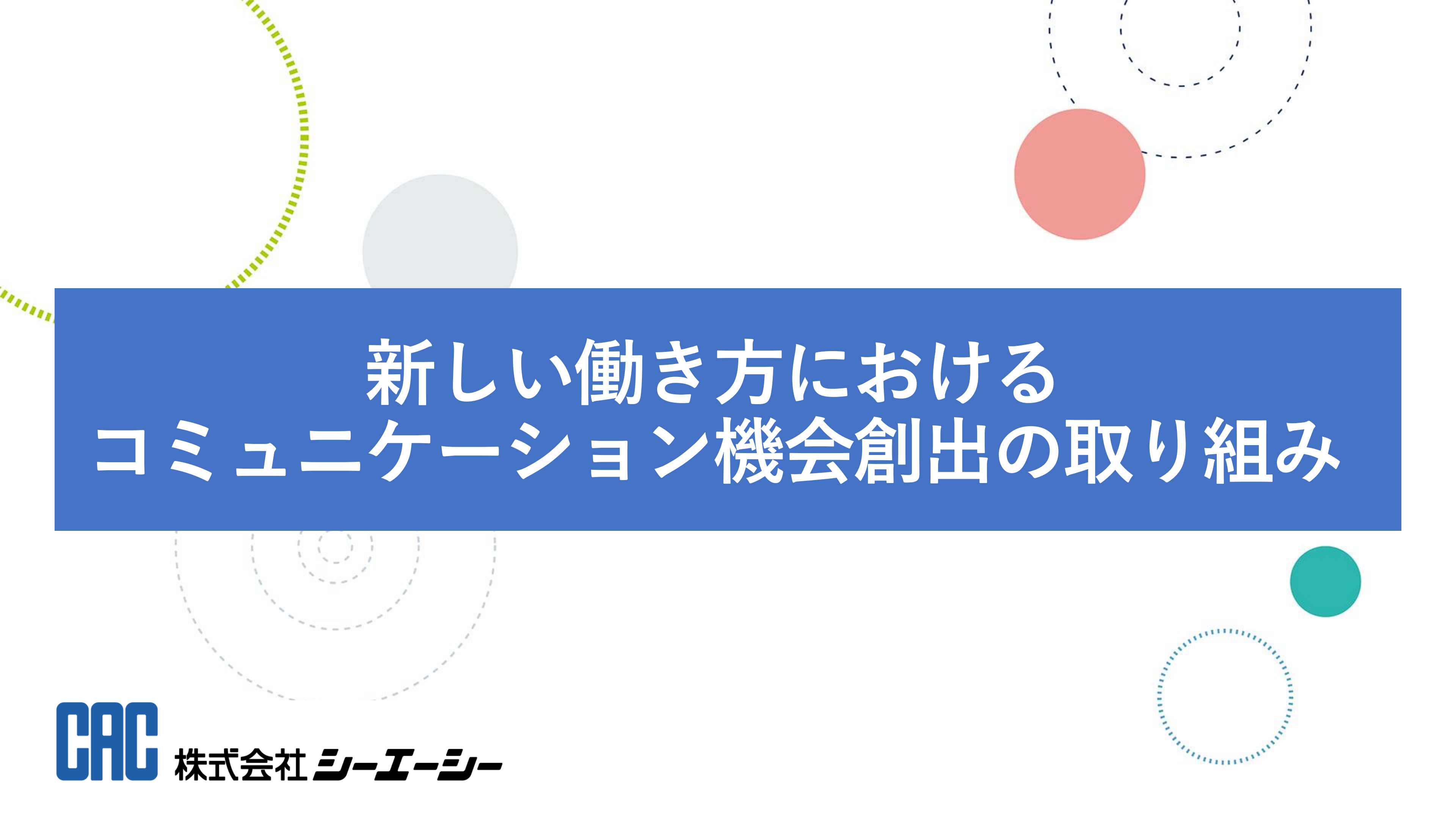




# 新しい働き方における コミュニケーション機会創出の取り組み



# 株式会社 **シーイーシー**

---

所在地：東京都中央区日本橋箱崎町24-1

---

設立：2014年4月1日（創業：1966年）

---

代表者：代表取締役社長 西森良太

---

資本金：400百万円

---

売上高：29,905百万円（2023年12月期）

---

従業員数：1,231名（2023年12月31日現在）

---

株主：株式会社CAC Holdings（100%出資）

---

主要事業品目：システム構築サービス・システム運用管理サービス・業務受託サービス

---



本社外観

# 『新しい働き方』の導入

## 変更前の働き方



決まった時間に決まった場所で

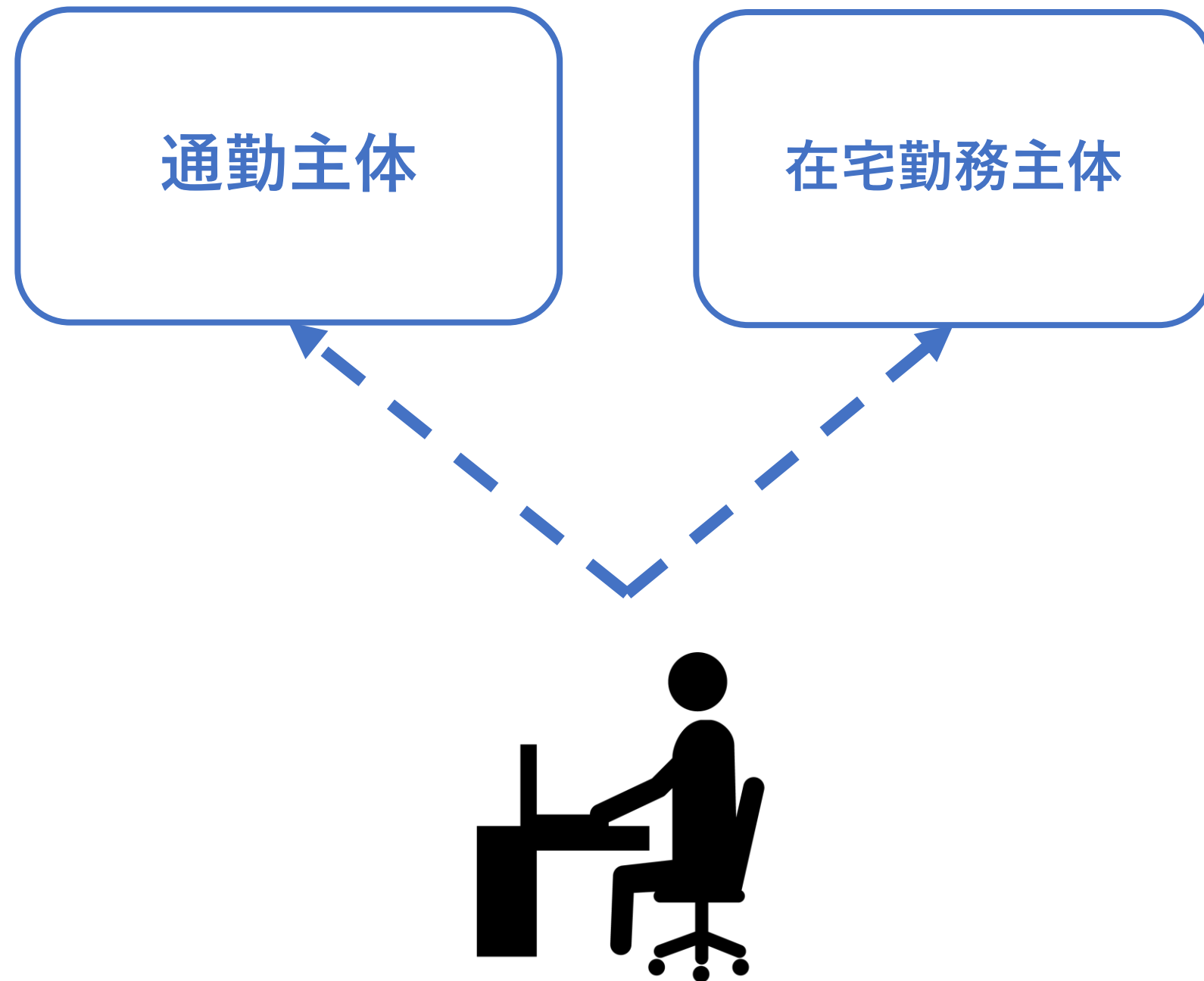


## 新しい働き方



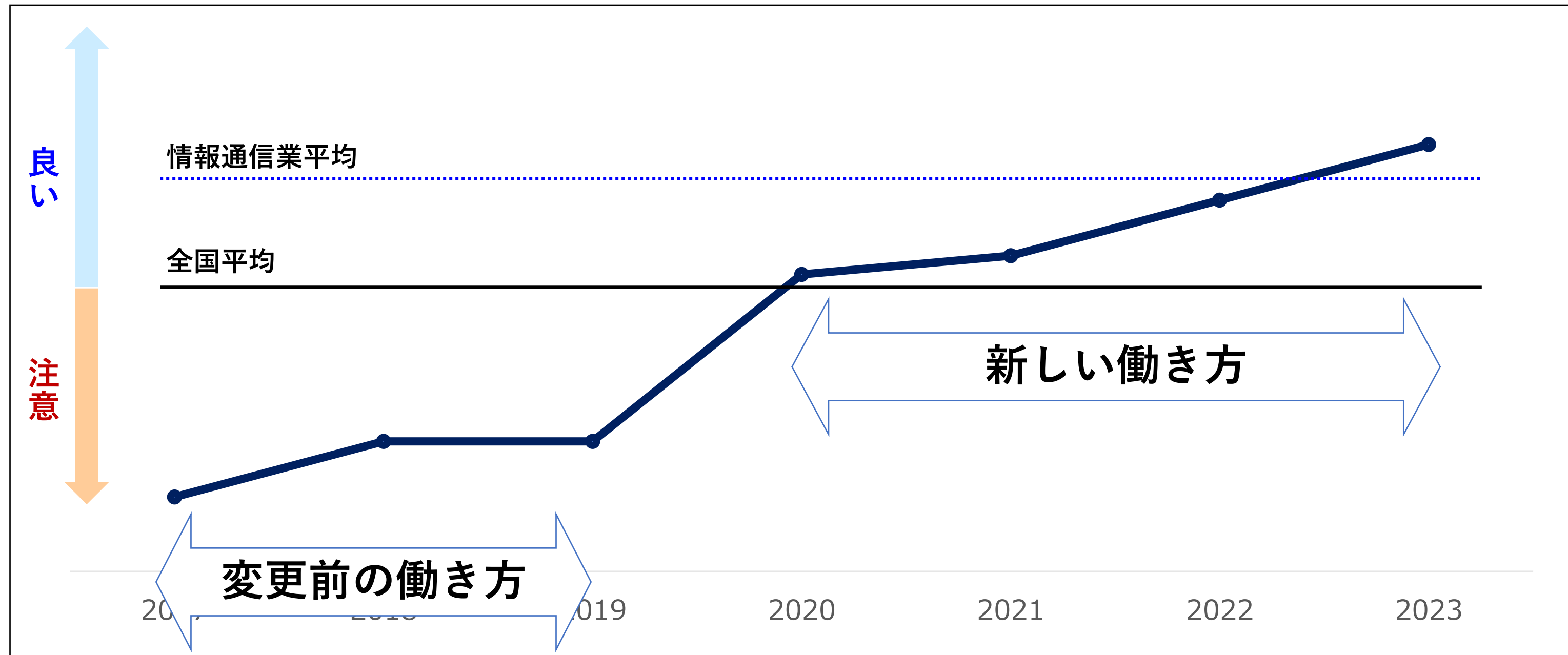
時間と場所にとらわれない

# 『新しい働き方』の導入



# 「いきいき度」の向上

※業界平均値は2022年度同調査利用企業



# 本社オフィスを縮小



フロア面積の約4割を削減

# オフィス環境はオンライン対応へ



**【BEFORE】**

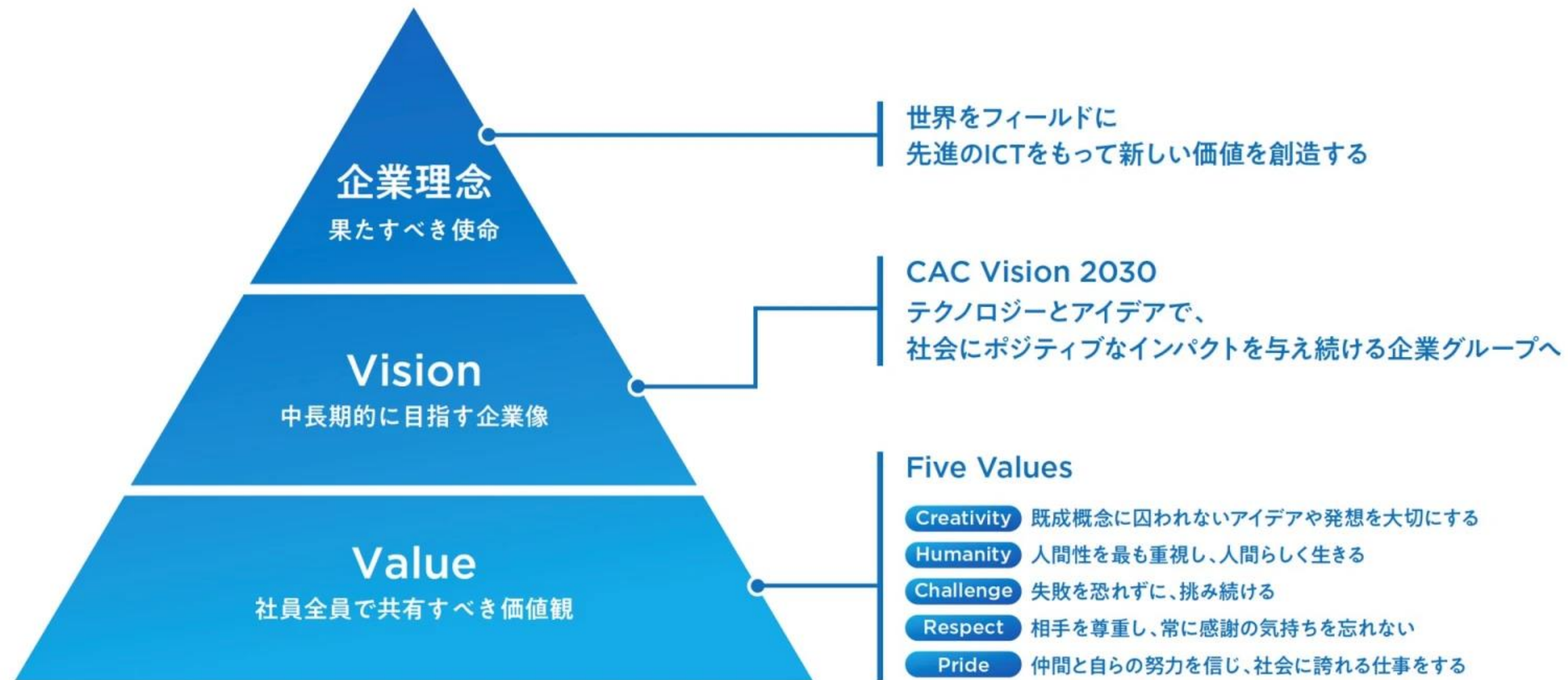
対面での打ち合わせに適した環境

**【AFTER】**

対面エリアを縮小し個人ブースを新設

# CAC Vision 2030

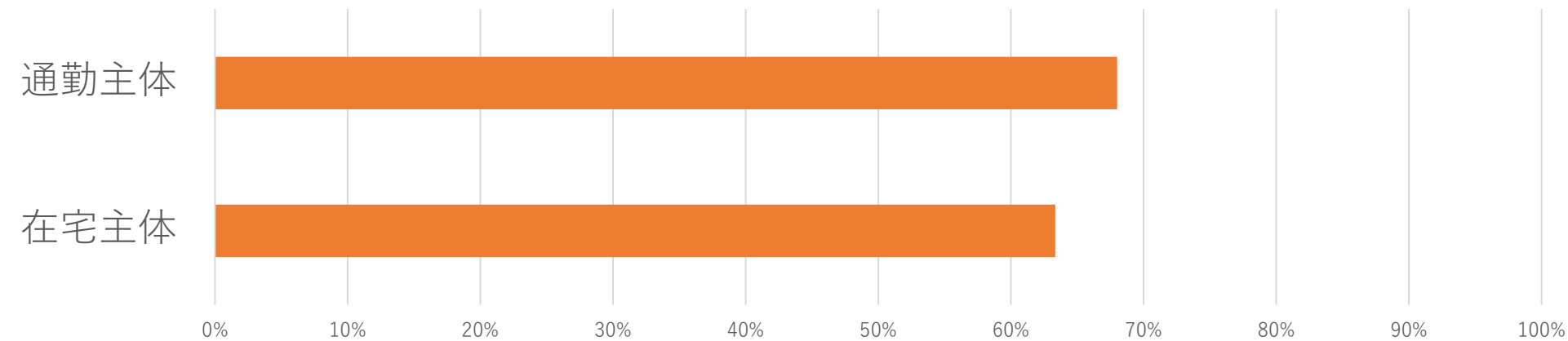
テクノロジーとアイデアで、社会にポジティブなインパクトを与え続ける企業グループへ



ビジョン達成には、多様な考え方を知り、自由に発言できる風土がとても重要であり、  
キャリア形成においても、多様なロールモデルを知る必要性が増している。

# コミュニケーションに関する課題は多い

社内で関わる人が固定化されている (N=182)



社内でいつも話すのは  
自分の周りにいる10数人だけ



キャリア、人生、悩みや目標が  
意外に相談しにくい



今の方法で社員の本音が  
汲み取れているか不安

# コミュニケーションツール “hashigake” 導入

「ツールをうまく活用して、まずは会話機会を増やすところからやってみましょう！」  
というメッセージを発信

**目的：タテヨコナメの会話機会の創出**

タテ：上司と部下のような組織図上のタテの関係  
ヨコ：部署のメンバー間や同期つながりなどヨコの会話  
ナナメ：部署や役職を飛び越えた会話

# 「マッチング」と「トーク」をツールが支援



マッチング

hashigake

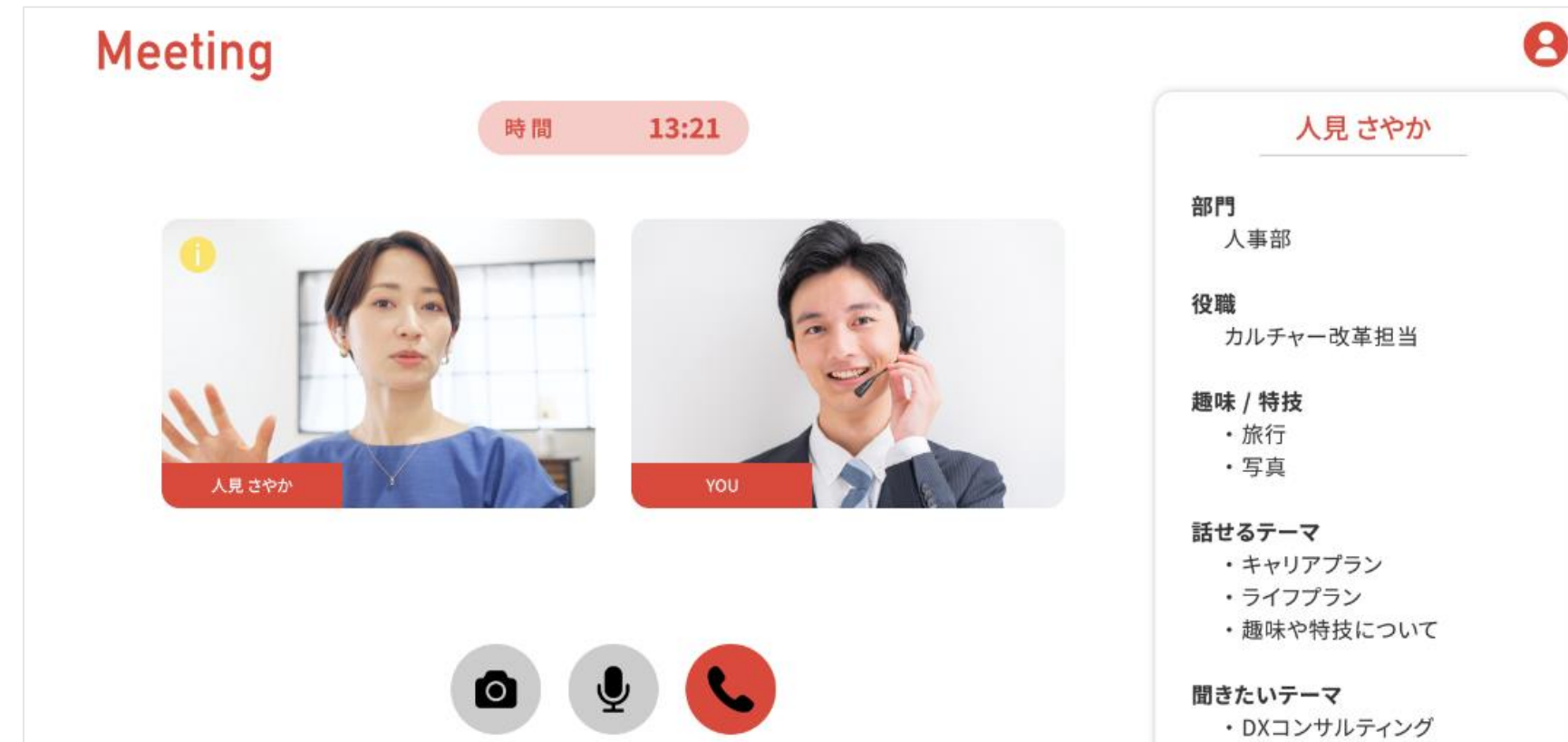


参加者はプロフィールや開催頻度を登録して、後はメールを待つだけ  
予定やプロフィールをもとに、hashigakeがトーク相手と時間をセット

# 「マッチング」と「トーク」をツールが支援



トーク



時間になったらメールのリンクからトークに参加  
2～3人の少数で、かつプロフィールに共通項があるのでトークが弾む

# 垣根を越えた会話機会の実現

残り時間 17:35

清水 康太

人見 さやか

You

考える・ゲーム

芸術・鑑賞

稼ぐ

話せるテーマ

悩んでいる話(過去、現在)

CAC入社前はこんな仕事をしていました

人生プラン

その他雑談

自己啓発の活動

仕事へのモチベーション

苦労した話(過去、現在)

育児経験

こんな副業しています(してました)

出産経験

趣味、特技の話

今こんな仕事しています

越境経験(ボランティア等)

私のチャレンジ(MBOのチャレンジ目標)

私のキャリアプラン

聞きたいテーマ

何をモチベーションに仕事しているか聞きたい

今どんな仕事してるか聞きたい

趣味、特技の話が聞きたい

同じ趣味の人と話したい

他の人はどんな悩みを抱えてるのか、聞いてみる

頻出ワード

本部長 水山下 一時期 タイミング チャレンジ マッチ

カ アルバイト イベント エンジニア オフィス オン

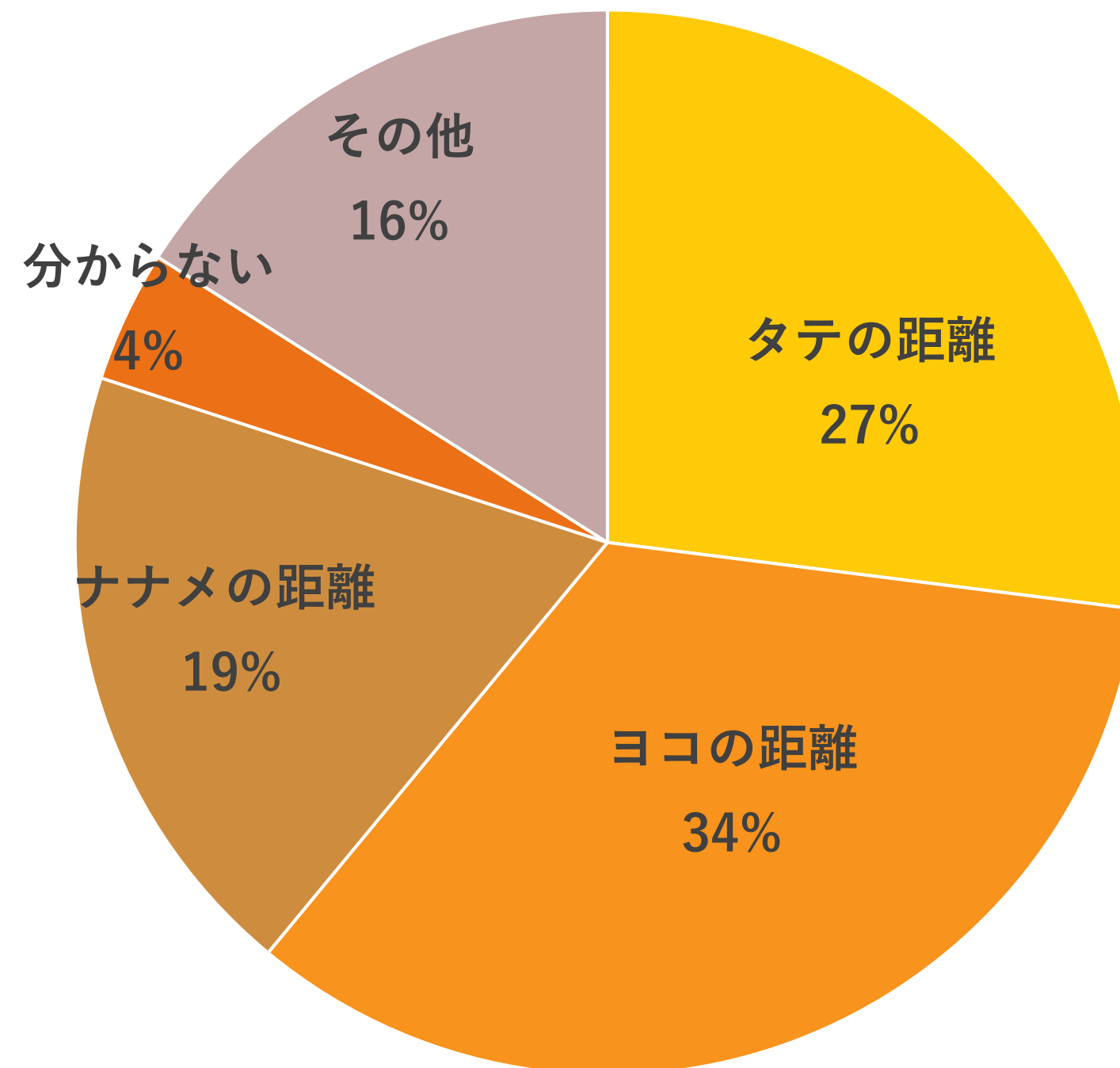
スキップ スタンス ストイック 10 66 アイ

世間的 中間管理職 キャッチアップ キャリア キ

# タテヨコナメの関わり創出に成功

## トーク相手との関係タイプ

(N=538, 複数回答)



# 社員にポジティブなインパクト



普通に仕事をしていると会話する機会のない方々と同じテーマについて

思考や行動の変化に繋がる  
具体的効果が出てきている



3名でのトークで利用してみると、今回は皆、同じ役職という回でした。役職は同じでも、部門がそれぞれ異なる方々だったので、大変刺激になりました。



話した相手は久しぶりに会話する方でした。「過去に一緒に仕事した or 一緒に仕事した経験はないが知り合い」、しかし「会話する機会はない」という方との再会、関係性のリテンションには有効だと感じました。

・自分のキャリアを見据えて日々の業務をしている姿勢に刺激を受けました。自分のやりたいこと、自分のなりたい姿を考えて動こうと、改めて思いました。

・hashigakeで様々な人と仕事観やモチベーションの会話を通して、自社への帰属意識が上がったと感じます。

・10年後の自分がどんなモチベーションをもって仕事に臨んでいるのか、少しイメージを持つ事ができました。

**CAC**